

## 4. しいの実シアター

### ○ ホールの全景



### ○ ホールの概要

施設名	しいの実シアター			
所在地	〒690-2105 島根県八束郡八雲村平原481-1			
TEL/FAX	TEL: 0852-54-2400 / FAX: 0852-54-2411			
運営母体	八雲村文化協会(劇団あしぶえ)			
立地都市の人口	7,063人			
成規規模	ホール施設	演劇専用劇場(108席)		
	敷地面積	5,249㎡	駐車台数	50台
	建築面積	388㎡	延べ床面積	418㎡
総事業費	3億258万円	建設工事費	1億8,400万円	
年間自主事業費	万円	自主事業公演数	11~30本	
総スタッフ数	2名	新規採用者数	2名	
基本理念	<ul style="list-style-type: none"> <li>恵まれた自然環境の中で、演劇等を通じて村民の文化の向上と情操の かん養を図り、且つ八雲村の演劇文化の拠点として、八雲村林間劇場 を設置する。</li> </ul>			

## ● ホールの計画づくりの概要

<p>検討開始から 開館までの プロセス</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>93年 7月:八雲村林間劇場整備事業が自治省ふるさとづくり事業に指定</li> <li>93年12月:(有)峯建築設計事務所に設計発注</li> <li>94年 6月:建設工事着工→95年5月:竣工</li> <li>95年 3月:八雲村林間劇場設置および管理に関する条例を議決</li> <li>95年 8月:開館</li> </ul>
<p>設計者の選定と 設計の進め方</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計事務所の選定は、4社からそれまでの作品資料を提出してもらった上で、競争入札で(有)峯建築設計事務所に決定。</li> <li>仕様については、「劇団あしぶえ」(代表・園山氏)、舞台美術家のアドバイスを受けた。</li> <li>設計者は劇場づくりは初めてだったので、劇場を視察したり、演劇用語や舞台機構について説明を行ないながら、設計が進められた。</li> <li>音響、照明、舞台機構については、それぞれ専門家にアドバイスを受けている。</li> </ul>
<p>設計者</p>	<p>(有)峯建築設計事務所</p>
<p>コンサルタント</p>	<p>劇団あしぶえ</p>
<p>運営方法の検討 運営体制の整備</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>八雲村が劇場のオーナーで、「八雲村文化協会」を設立し、管理・運営を委託している。協会には、村内の文化団体が加入、「劇団あしぶえ」はその加入団体として管理・運営を行なっている。</li> <li>光熱費などの維持管理費は村が負担し、管理・運営にかかる労務部分は、「劇団あしぶえ」団員とサポートスタッフのボランティアによる。</li> <li>99年11月実施の国際演劇祭業務のため、「劇団あしぶえ」の団員1名が八雲村教育委員会の嘱託職員として、演劇祭の仕事に専従している。また、教育委員会の国際文化コーディネーターが、週2回出向という形で、プランニング・通訳等の仕事を行なっている。</li> </ul>
<p>開館記念事業</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「劇団あしぶえ」主管による「星降る里の演劇フェスティバル」を開催、「しいの実シアター」と八雲村社会福祉センター「アルパホール」で5団体が作品を上演した。しいの実シアターでは、こけら落としセレモニーの後、「劇団あしぶえ」による「ゼロ弾きのゴーシュ」が上演された。</li> </ul>
<p>計画づくりにおける 特徴・課題</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>「劇団あしぶえ」は、1964年、現代表の園山氏を中心として松江市で結成、市内に「50人劇場」を構えて活動を続けてきた。</li> <li>「100人劇場」設立を目指して、松江市内で本拠地を捜していたが候補地が見つからなかった「劇団あしぶえ」と、若者が集まる文化の発信拠点を設けて地域活性化をと考えていた八雲村の出会いから、しいの実シアターが生まれた。</li> <li>園山氏をはじめ、劇団員が村に住み着き、地域に根差した活動を展開。</li> <li>計画づくりについては、設計から運営に至るまで、八雲村と「劇団あしぶえ」が連携しながら作業を進めた。</li> <li>99年11月に八雲国際演劇祭を開催、八雲村や松江市をはじめとする全国のサポートスタッフから支援とボランティアを募り実行委員会を結成、成功を収めた。2年後の2001年から本格的開催を目指す。</li> <li>国際演劇祭をはじめとする活動は、規模の小さい八雲村だったから実現できた。</li> </ul>